



## 平成30年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年11月13日

上場会社名 SBSホールディングス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 2384 URL <http://www.sbs-group.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鎌田 正彦  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務部長 (氏名) 遠藤 隆 (TEL) 03 (3829) 2222  
 四半期報告書提出予定日 平成30年11月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年12月期第3四半期の連結業績(平成30年1月1日～平成30年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年12月期第3四半期	136,018	21.5	3,554	△15.4	3,435	△22.7	1,847	△37.5
29年12月期第3四半期	111,925	△0.4	4,202	△33.1	4,442	△32.5	2,954	△35.7

(注) 包括利益 30年12月期第3四半期 2,141百万円(△36.6%) 29年12月期第3四半期 3,376百万円(△25.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年12月期第3四半期	46.51	—
29年12月期第3四半期	74.40	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年12月期第3四半期	174,589	45,821	21.5
29年12月期	127,802	38,510	28.5

(参考) 自己資本 30年12月期第3四半期 37,496百万円 29年12月期 36,401百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年12月期	—	0.00	—	21.00	21.00
30年12月期	—	0.00	—		
30年12月期(予想)				21.00	21.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成30年12月期の連結業績予想(平成30年1月1日～平成30年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	202,000	32.1	7,500	20.4	7,200	11.2	4,000	△10.0	100.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 1社 (社名) リコーロジスティクス株式会社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	30年12月期3Q	39,718,200株	29年12月期	39,718,200株
② 期末自己株式数	30年12月期3Q	512株	29年12月期	472株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	30年12月期3Q	39,717,727株	29年12月期3Q	39,717,777株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成30年1月1日～平成30年9月30日)におけるわが国経済は、好調な企業収益と雇用および所得環境の緩やかな伸びが下支えとなり総じて安定した水準で推移しました。一方、原材料価格の上昇や保護主義の台頭から突発的な貿易摩擦問題などが発生する中、拡大を続けてきた景気に対する不安材料も顕在化し始めております。

物流業界では、慢性的な人手不足から派生する人件費、備車費の上昇は依然として進行しており、燃料価格も高値圏で推移しました。これら原価上昇に加えて台風や地震等、自然災害が相次いだことに伴う一時的な作業負荷増など、コストコントロールに腐心を要する厳しい経営環境が続きました。

このような環境の中、昨年12月に創業30周年を迎えた当社グループは、今期を第2の創業期と位置づけ、グループスローガン“*For Your Dreams.*”のもと、ECビジネスの台頭に伴う商流の転換や技術革新等大変革期にある物流業界を牽引するリーディングカンパニーを目指し、グループ一丸となって事業活動に取り組みました。

事業戦略では、PR誌、ホームページ、ネット広告等を活用したマーケティング活動とグループ横断的な組織営業を両輪で展開することで新規案件獲得と既存事業拡大に取り組み、医薬部外品OEMメーカー、EC通販、小売業等々の3PL拠点を新たに稼働いたしました。また、急増する大手EC通販向けのラストワンマイル配送業務については、柔軟な雇用環境を整備することで対応能力を拡充いたしました。8月1日から新たに当社グループに参画したリコーロジスティクスとのシナジー創出については、複数の協働プロジェクトを立ち上げ、海外拠点の統合や全国配送網の組織化等において早期の具現化を目指し活動を開始しました。

投資戦略では、8月に生産物流、全国配送ネットワーク、LT(Logistics Technology)技術、海外事業等の強化を企図してリコーロジスティクスの株式を取得し、同社を連結子会社化いたしました。物流施設開発では、5月に茨城県稲敷郡阿見町において三温度対応の物流施設が竣工、続いて6月には千葉県野田市瀬戸にて3万5千坪の物流施設用地を取得し造成工事に着手いたしました。大阪市住之江区南港においては、2019年3月竣工に向け延床面積約1万8千坪の物流施設建設工事を進めており、需要が増す3PL事業のインフラ強化に努めております。また、横浜市緑区長津田における物流施設の信託受益権一部譲渡に関わる準備を進めました。

これらの結果、物流事業が大きく伸長し、売上高は1,360億18百万円(前年同四半期比21.5%増)となりました。営業利益は、不動産事業において物流施設売却益の計上がなかったことから、前年同四半期より6億48百万円減少し35億54百万円(同15.4%減)、経常利益は34億35百万円(同22.7%減)となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、18億47百万円(同37.5%減)となりました。

セグメント別の経営成績は以下のとおりであります。

#### (物流事業)

物流事業の売上高は、当第3四半期からリコーロジスティクスの業績を連結したことと、新規案件受注及び既存事業の拡大が好調であったことから258億31百万円増加し1,288億72百万円(前年同四半期比25.1%増)となりました。営業利益は人件費、燃料費、備車費などのコストが上昇したものの既存事業の拡大や料金適正化交渉が結実したことから、9億84百万円増加の25億44百万円(前年同四半期比63.1%増)となりました。

#### (不動産事業)

不動産事業の売上高は、前年同期に実施した物流施設の売却を行わなかったことから、21億63百万円(前年同四半期比45.0%減)、営業利益は12億12百万円(同49.8%減)の減収減益となりました。

#### (その他事業)

その他事業の売上高は、49億82百万円(前年同四半期比0.7%増)、営業利益は2億22百万円(同34.5%減)の増収減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、1,745億89百万円となり、前連結会計年度末に比べ467億86百万円増加いたしました。これは主に、子会社取得を通じ、現金及び預金、受取手形及び売掛金など流動資産が167億47百万円、土地、建物及び構築物、のれん等により固定資産が300億38百万円増加したことによるものであります。

負債は、1,287億68百万円となり、前連結会計年度末に比べ394億76百万円増加いたしました。これは主として、短期借入金、支払手形及び買掛金、賞与引当金の増加により流動負債が338億78百万円増加したことによるものであります。

純資産は、458億21百万円となり前連結会計年度末に比べ73億10百万円増加いたしました。これは主として、親会社株主に帰属する四半期純利益18億47百万円を計上するとともに、非支配株主持分が62億14百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

期末に向けての経営環境は、海外諸国における政局が不安定であることに加え、好況を呈していた中国、米国経済の伸長が鈍化し国内の一部企業業績にも停滞が認められるなど、経済の減速懸念が一層現実味を帯びるものと思われまます。また、物流業界においても、人手不足に伴う人件費や採用費用の増加等コスト増が続くと見込まれ、厳しい経営環境が続くものと想定しております。

このような環境下、当社グループは3PL事業を核とした総合物流企業として、業容の拡大と業務の効率化を推進してまいります。現時点においては、平成30年8月10日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	11,539	15,856
受取手形及び売掛金	19,672	30,221
たな卸資産	11,226	11,227
その他	4,970	6,840
貸倒引当金	△58	△47
流動資産合計	47,350	64,098
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	37,463	47,066
減価償却累計額及び減損損失累計額	△20,290	△25,450
建物及び構築物(純額)	17,173	21,616
機械装置及び運搬具	21,635	24,223
減価償却累計額及び減損損失累計額	△11,786	△12,796
機械装置及び運搬具(純額)	9,849	11,426
土地	34,758	41,822
リース資産	2,740	6,000
減価償却累計額及び減損損失累計額	△1,625	△3,355
リース資産(純額)	1,115	2,645
建設仮勘定	4,922	6,626
その他	4,286	5,672
減価償却累計額及び減損損失累計額	△3,029	△4,031
その他(純額)	1,256	1,641
有形固定資産合計	69,076	85,779
無形固定資産		
のれん	—	5,821
その他	1,064	5,214
無形固定資産合計	1,064	11,035
投資その他の資産		
投資その他の資産	10,842	14,228
貸倒引当金	△531	△553
投資その他の資産合計	10,311	13,675
固定資産合計	80,451	110,490
資産合計	127,802	174,589

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,204	12,523
1年内償還予定の社債	160	80
短期借入金	14,500	36,200
1年内返済予定の長期借入金	8,881	8,712
未払法人税等	501	934
賞与引当金	778	2,963
その他	9,297	14,787
流動負債合計	42,323	76,201
固定負債		
社債	80	—
長期借入金	32,861	33,521
退職給付に係る負債	4,338	5,949
資産除去債務	1,332	1,298
その他	8,356	11,796
固定負債合計	46,968	52,566
負債合計	89,291	128,768
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,920	3,920
資本剰余金	2,651	2,651
利益剰余金	29,175	30,188
自己株式	△0	△0
株主資本合計	35,747	36,760
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	879	932
為替換算調整勘定	△90	△69
退職給付に係る調整累計額	△135	△126
その他の包括利益累計額合計	653	736
非支配株主持分	2,109	8,324
純資産合計	38,510	45,821
負債純資産合計	127,802	174,589

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年9月30日)
売上高	111,925	136,018
売上原価	100,428	123,326
売上総利益	11,497	12,692
販売費及び一般管理費	7,294	9,137
営業利益	4,202	3,554
営業外収益		
受取利息	13	18
受取配当金	61	36
持分法による投資利益	486	300
その他	135	127
営業外収益合計	697	483
営業外費用		
支払利息	347	397
その他	109	204
営業外費用合計	456	602
経常利益	4,442	3,435
特別利益		
固定資産売却益	304	106
その他	49	—
特別利益合計	354	106
特別損失		
固定資産売却損	29	17
固定資産除却損	42	71
投資有価証券評価損	132	—
抱合せ株式消滅差損	89	—
その他	70	—
特別損失合計	364	89
税金等調整前四半期純利益	4,432	3,453
法人税、住民税及び事業税	1,129	1,876
法人税等調整額	266	△467
法人税等合計	1,395	1,408
四半期純利益	3,036	2,044
非支配株主に帰属する四半期純利益	81	197
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,954	1,847



## (四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年9月30日)
四半期純利益	3,036	2,044
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	240	37
為替換算調整勘定	21	28
退職給付に係る調整額	△48	52
持分法適用会社に対する持分相当額	127	△21
その他の包括利益合計	340	97
四半期包括利益	3,376	2,141
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,293	1,929
非支配株主に係る四半期包括利益	83	212

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自 平成29年1月1日 至 平成29年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	物流事業	不動産事業	その他事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	103,041	3,935	4,948	111,925	—	111,925
セグメント間の 内部売上高又は振替高	380	—	112	493	△493	—
計	103,422	3,935	5,061	112,419	△493	111,925
セグメント利益	1,559	2,413	339	4,313	△111	4,202

(注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去33百万円及び各報告セグメントに配分していない当社及び一部の連結子会社の本社等の間接部門に係る損益△144百万円であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 平成30年1月1日 至 平成30年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	物流事業	不動産事業	その他事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	128,872	2,163	4,982	136,018	—	136,018
セグメント間の 内部売上高又は振替高	421	—	135	557	△557	—
計	129,293	2,163	5,118	136,575	△557	136,018
セグメント利益	2,544	1,212	222	3,979	△424	3,554

(注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去37百万円及び各報告セグメントに配分していない当社に係る損益△461百万円であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。